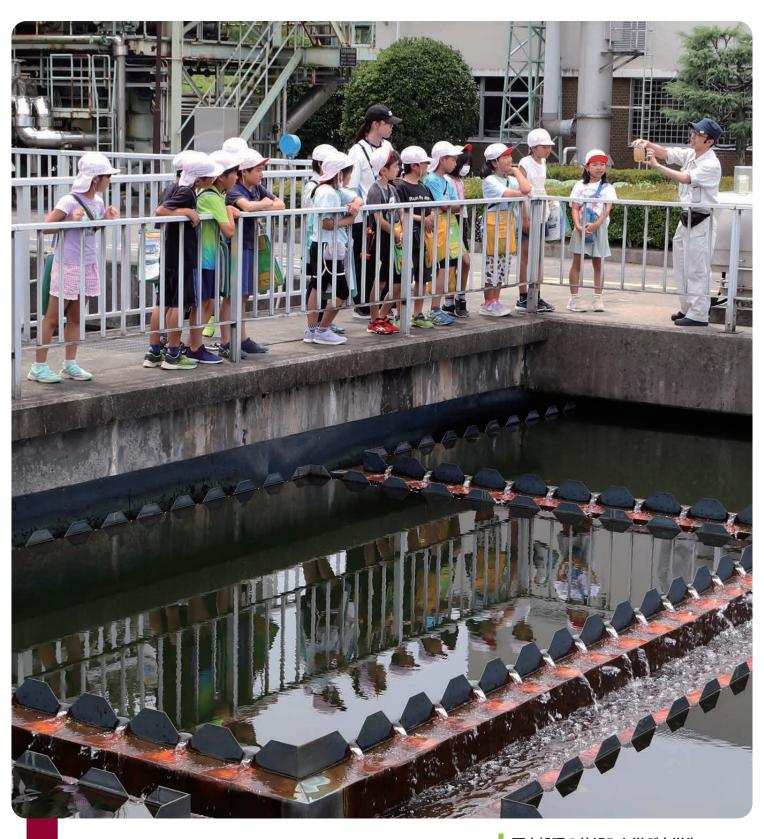
IIDA CITY 広報ししして

2024 (令和6年)

8

No.1186



暮らしを支える上下水道

下水処理の仕組みを学ぶ小学生

【松尾浄化管理センター】

松尾浄化管理センターでは1日約32,000㎡の 下水を処理しています。水をきれいにする過程 では、微生物が重要な役割を果たします。

暮らしを支える 上下水道

地球の大切な資源である「水」。飲み水や入浴・

洗濯などの生活用水をはじめ、農業や工業な

どの産業にも多く用いられており、日々の暮らしに欠かせないものです。私たちは、「水」という豊かな自然の恵みを、水道、下水道という仕組みを通じて享受・活用し、浄化して自然に還す営みをしています。

今月の特集では、将来にわたって、安全で安心 して使用できる水道水を供給し、使った水をきれいにして

川に還していくための水質検査や維持管理などの取り組みを紹介します。

●問い合わせ/経営管理課 内線5252

安全な水道水を届けるために ~水道水が蛇口に届くまで~

取水

川などから 水を取り入れ ています。



中央監視室

妙琴浄水場は、水中の土砂などを薬品で凝集し沈めた後、砂の層でろ過し、塩素消毒を行い、飲用可能な水道水にしている施設です。中央監視室では、24時間365日、市内全ての浄水場や配水池などの水道施設を監視し、配水流量・水位・水質などの測定データをもとに管理をしています。



水質試験室

左が「原水」の水槽、右が「浄水」の水槽

取水



水質計測器

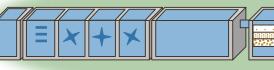
アルカリ度などの水質を計測して、水をきれいにするために必要な薬品注入量などを決めています。 また、「原水」と「浄水後

妙琴浄水場の水質試験室では、原水の濁りやPH・

また、「原水」と「浄水後の水」を入れたそれぞれの水槽で金魚を飼い、金魚の行動を観察することで、水質検査や水質測定器では検知できない異常の早期発見に努めています。









緊急時の対応





割れた水道本管

設備の故障や測定データの異常が検知された場合は、すぐに職員が参集して対応できる体制になっています。

水道水が止まることがないように被害を最小限に食い止めます。

水道管の管理

水道管が漏水していないか定期的に調査をしています。 水道管は道路の下にあるので、特殊な器具を使って確認し ます。





_{おんちょうぼう} 「音聴棒」を使った調査

水道の水をそのまま飲める国は、 日本を含め世界でたったの 11カ国(※)しかありません。

※令和5年版日本の水資源の現況(国土交通省)

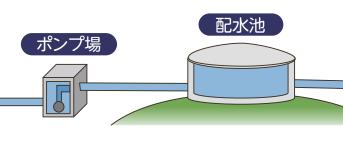


老朽化した施設の更新

配水池などの施設は、災害に強く、将来の水需要や配水区域の状況を踏まえた適正な規模の施設へと更新を行っています。今年6月には上郷第1配水池を、耐震性を確保した適正な容量の配水池に更新しました。









使った水をきれいにして川へ還すために

下水道は正しく使いましょう

排水管や下水道管が詰まると故障や悪臭の原因となるので、異物は流さないでください。液体である食用油も水に溶けず固まる性質があるため、下水処理場の機能低下につながります。









▲市ウェブサイト

▲市YouTube

※詳しくは市ウェブサイトにまとめて いますのでご覧ください。

施設維持

老朽化した下水道管の長寿命化、耐震化を計画的に行っています。下水道管やマンホールポンプ場などに異常が発見された場合、直ちに対応しています。



老朽管

更生管 (長寿命化、耐震化後)



施設点検・清掃

下水道管やマンホールポンプ場の点検・清掃を行っています。特に、大きな河川の下を横切る下水道管(伏越し)は構造的に泥などが溜まりやすいため、定期的に清掃しています。

また、マンホールのふた周辺の状況も、交通量が多い道路は車両の踏みつけによって傷みやすいので、重点的に点検しています。



下水道管の清掃作業





マンホールポンプ場





特集:暮らしを支える上下水道

マンホールポンプ場

低い所から高い所へ下水を流すための施設で 市内に223箇所あります。

近年、異物による故障が多く発生しています。 故障が重なると、規模によっては数百万円する高 価なポンプを取り替えなければいけなくなりま す。適正な使用にご協力をお願いします。





中央操作室

松尾浄化管理センターは、下水道管を通って集まった汚れた 水を、微生物の力できれいにし、塩素消毒を行い、川に還す施設 です。中央操作室では、24時間365日、運転状況や水量、水質 などを監視しています。松尾以外の浄化センター(竜丘、川路、

和田)もここで 遠隔監視して います。



市内には上記の浄化センター以外に大小11カ所 の農業集落排水処理施設などがあります。

水質検査

処理した水の水質に異常がないか、42項目 による検査を行い、きれいな水になったことを 確認しています。



水質検査の様子





下水処理施設



エネルギーの再利用

松尾浄化管理センターでは、処理の過程で発生するメタンガス

を燃料にして発電した電力を、浄化センター内で利用しています。

____ 発電システム

水道と下水道の維持管理(更新)、運営に関する費用は、使用いただいている皆さんの 水道料金、下水道使用料・農業集落排水処理施設使用料によって賄われています。 事業の効率化を図りながら、持続可能な上下水道事業運営に努めています。



PHOTO ONEWS

飯田型キャリア教育 地域を知り愛着を育む





市内小中学校では、ふるさと学習などを通して「ふるさとに心根をおいた未来の地域の担い手や地域を支える人」の育成を目指し、飯田型キャリア教育に取り組んでいます。

竜峡中学校では、7月3日に1年生が地域の特徴的な場所を訪れ、今田人形の動かし方を体験したり、旧小笠原家書院の歴史を学んだりしました。

オーガニックファーム 農ある暮らしを体験





保育園・認定こども園に通う子と親を対象に、化学肥料や農薬を使わない有機野菜をみんなで育てて収穫できる農業体験教室を、山本地区の畑で毎週開催しています。

7月6日の活動では、野菜の種をまくためにくわで畑を耕し、ネギの白い部分に土をかぶせ、ジャガイモとズッキーニの収穫をしました。

市公式SNSでも市内の出来事やイベントなどを配信しています。 ぜひご覧ください。





Instagram

ピースゼミ 高校生が平和を学ぶ



高校生を対象にした平和学習講座(ピースゼミ)を開催しています。6月15日は飯田高校にある「希望の像」や羽場地区にある「爆弾三勇士像」などを見学し、平和について考えました。

地域ポイント実証実験地域活動でポイ活を



「ふくまるくんカード」を使った地域ポイントの実証実験を7月1日から行っています。市の事業やイベントに参加するとポイントが貯まり、市内加盟店で買い物に利用することができます。

「りんごん」ポスター表彰式 開催を心待ちに描く



最優秀賞、優秀賞に選ばれた皆さん

8月3日に開催する「飯田まつり飯田りんごん」 のポスター表彰式を7月3日に開催しました。

市内4つの小学校から155点の応募があり、最優秀賞1点、優秀賞3点が選ばれました。

市長と語るまちづくり懇談会地域の課題を共有



6月14日から10月1日までの間に、市内20地区で開催します。丸山地区の懇談会には高校生の参加もあり、「市の防災や地域の課題を知ることができてよかった」と感想を話してくれました。

現代版 養生訓



藤田識志 医師

腎臓の働きを知っていますか?

腎臓の働きといわれて、ぱっと市民のみなさんの頭に思い浮かぶことは何でしょうか。おしっこ(尿)を作ること、まさにその通りです。ですが、他には何かありますかと聞かれたらどうでしょう。案外頭を悩ませてしまうのではないでしょうか。

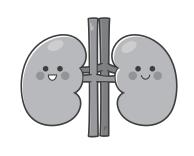
腎臓は肝臓と並んでかなり機能が落ちないと症状が 出てこないことから沈黙の臓器と言われており、その 働きも日常生活を送る中では実感しにくく、体の中でど ういう働きをしているのかわかりにくいと思います。

尿を作る以外に、主なところでは、赤血球を作るためのホルモン (エリスロポエチン) を調節して、貧血にならないようにしていたり、骨を作る (維持する) のに必要なビタミンDの活性化 (これがないとビタミンDを食品から摂取しても働きません) をしていたりしています。

皆さんがすでにご存じの尿を作るということに関しても、もう少し詳しく書きますと、体液量を適正な量に調整しつつ、電解質(塩分、カリウム、カルシウムなど)の出し入れをしつつ、酸とアルカリのバランスが崩れ

ないように見張りつつ、老廃物として体外に出すものを尿として作っているということになります。と、説明が長々と続いてしまいましたが、腎臓って結構頑張って働いているんだなということがわかっていただければ十分です。

近年ようやく慢性腎臓病なるものが世間に周知され始めました。敵を知れば百戦危うからず。まずは腎臓の働きを知ることから始めていただき、耳にはするけどよくわからない腎臓病、どこか他人事に思える腎臓病との距離を縮めてください。





Vol.41

市長室か

長 佐藤

市

健

ありがとうエルマー

その新聞の「死亡記事」には、亡くなった方の顔写真ではなく、見覚えのある絵本の表紙の写真が載っていました。

『エルマーのぼうけん』。子どもの頃、私 の大のお気に入りだった絵本。

その作者であるルース・スタイルス・ガネットさんのお名前も、作者が女性だったということも、その記事で初めて認識しました(もちろん本の表紙に作者の名前は書いてありますけれど)。

それにしても、『エルマーのぼうけん』を 私はいったい何べん読んだことでしょう!

エルマーが「どうぶつ島」に捕らえられている子どもの竜を助けに行き、次々と起こるピンチをリュックサックに詰め込んだ

チューインガムやら棒つきキャンディーや ら歯ブラシやらを使って巧みに乗り越えて いく様は、何度読んでもワクワクしたもの です。

作者の訃報に接し、久しぶりに懐かしい 絵本を手に取りながら、この本と出会えたこ とに改めて感謝しました(だって、エルマー が今の私の一部を作ってくれたのは間違い ないのですから!)。

すべての子どもが、 そんな大事な 一冊に出合え ることを心から 祈ります。